

連載第5回 横浜市議員 たけのうち猛 市民とともに



横浜市議員  
たけのうち猛

〈プロフィール〉

昭和49年、大分県大分市生まれ。米國・ワイオミング大学大学院・公共政策学修士課程終了。金沢区在住。平成27年4月、横浜市議員に初当選。公明党公認。建築・都市整備・道路委員会。減災対策推進特別委員会。

〈ご相談・ご連絡先〉

公明党金沢支部事務所：  
金沢区富岡西3-38-1-101  
TEL：080-9804-9782  
FAX：045-345-4345  
✉ info@takenouchi-takeshi.com  
http://www.takenouchi-takeshi.com/

人と猫が共生する、快適な居住環境へ  
地域猫活動を考える

今回は、地域猫活動についてご報告させて頂きます。イヌやネコなど、ペットの遺棄が深刻な社会問題となつて久しいですが、金沢区内でも野良猫が繁殖し、問題となつている地域があります。そこで、地域猫活動に取り組んでいるボランテ

ランティアの方々にお会いして、現状と課題を伺つて参りました。

Q. 地域猫活動とは？

A. 地域内の飼い主のいない猫に対して、地域で決めた場所です。餌や水を与え、排泄物の処理や周辺の清掃なども協力して行うことで環境保全を図り、また不妊去勢手術を行うことで繁殖を防ぎ、自然淘汰で頭数を減らしていく活動です。横浜市

でも、行政とボランテニアなどが協力して活動を推進しています。

Q. 有意義な活動ですね。

A. 横浜市で去勢にかかる費用の助成は行つていますが、不足分はボランティアの皆さんがバザーや募金で調達しています。また、地域の公園の砂場の清掃や、猫のトイレの管理、餌やりなどもボランテニアで日常的に行つて

います。猫の命を守り、全うさせ、人と猫が共生する快適な居住環境を作る、本当に尊い活動です。しかしながら、「猫好きが勝手に餌やりをして野良猫を増やしている」との誤解も多く、活動を妨害されることもあるそうです。行政として、去勢費用の助成の拡大、ペットの遺棄自体を無くすための取組を積極的に推進していくこと、何より地域猫活動への理解を浸透させる啓発が最大の課題です。

